

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会
開 催 日 時	令和5年4月14日(金) (午前・午後) 2時30分 開会 (午前・午後) 4時50分 閉会
開 催 場 所	茨木市役所 南館8階中会議室
議 長	河合 将生 氏 (office musubime 代表、NPO組織基盤強化コンサルタント)
出 席 者	【評価委員】 河合将生氏 (NPO関係者)、桜井政成氏 (学識経験者)、高田和子氏 (地域活動関係者)、板倉幸司氏 (公募市民) (4人) 【事務局】 向田共創推進課長、吉田共創推進課市民活動グループ長、松井 (3人) 【担当課】 政策企画課、社会教育振興課、地域福祉課 (3課)
開 催 形 態	原則公開
議 題 (案 件)	(1) 概要説明および会議の公開・非公開の決定 (2) 提案者によるプレゼンテーション及び質疑応答
配 布 資 料	・ 第2回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・ 令和5年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧 ・ 応募関係書類 (個人情報を含むため省略)

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会及びあいさつ
河合委員長	公開・非公開の決定について（原則公開・会議録は要点筆記） 本日の会議の概要説明 ----- プレゼンテーション開始 -----
団体	【自由テーマ型】 茨木学生生活動交流会 いばらきマルシェ
関連課	【関連課 意見】
桜井委員	【質疑応答】 ・ 学生同士の交流の目的は。 →前回同様のイベントを行ったが、学生同士の交流は意外と少ない。互いの団体のことを知り、情報共有を行うことで、相互の運営の向上が目的。
河合委員長	・ 集まるだけでなく、プラスアルファの方向性を示していけるとよい。他にどのように波及するのか。どういう地域課題を解決できるのか。 →出展団体と同じ目線で他の団体と連携できるとよいと考えている。
板倉委員	・ この補助金は茨木市の補助金であり、学生同士の交流が目的であるならば、それが茨木市の社会課題にとってどうプラスになるか、どういった波及効果があるかと考えるか。 →若い力が求められていると感じる。高齢化した団体との連携につながると考えている。
河合委員長	・ 持続可能な企画にするために何か考えているか →出展団体や運営ボランティアの中から、運営に関わる人を見つけていきたい。
団体	【自由テーマ型】 小学生はじめてのプラモデルづくり事業 いばらきキッズプラモ倶楽部
関連課	【関連課 意見】
桜井委員	【質疑応答】 ・ 旅費交通費について →講師分を実費で計上する。
板倉委員	・ 参加者は、リアル会場 48 名＋オンライン 12 名という認識でよいか。 →その通りである。

河合委員長	・ものづくりについて教えるという主旨はよいがオンラインにかける金額が高い。 →講座をオンラインとしているのは、当日来られない子どもに加え、親には当日会場に来ずに、家で見守ってもらいたいと考えている（親が口を出してしまうため）。 今後は講師費用を下げ、補助金に頼らず事業ができるようにしていきたい。 ・補助金を使うことによる効果は。今後の広がり。 →今回をきっかけに、自分が作ったものを何か他のイベントで使ってみようかな、 ということができるようになると、子どもにとっても広がりが見えると思う。
団体	【自由テーマ型】 未来へつなぐ伝統文化とのふれあい in ナガヤもん こども大歓迎 いばらき古民家再生・保存活用の会
関連課	【関連課 意見】
桜井委員	【質疑応答】 ・イベントの開催から、将来的なレンタルスペースとしての運用は、こういったプロセスが必要と考えているか。 →イベントの実施にはお金がかかるが、その費用を工面するためにレンタルスペースとしての活用が必要と考えている。バランス感については、走りながら考える。
板倉委員	・プレゼンでは古民家の話をしてもらったが、今回の 20 万円の費用としては、イベント開催費用ということではどうか。レンタルスペースの話とは今回は別と考えて よいか。 →今回はイベント開催の費用である。レンタルスペースの話は今回の事業とは別。
桜井委員	・旅費交通費について →ボランティアスタッフに対するもの。
団体	【自由テーマ型】 子ども将棋の指導 茨木子ども将棋クラブ
関連課	【関連課 意見】
桜井委員	【質疑応答】 ・補助金により交通費を支払っているが、補助金がなくなると支払えなくなる。持続性を考えるなら、費用を上乗せで徴収してはどうか。 →気軽に来られる値段設定としたいため 100 円としている。また、講師にお金を払ってあげたい。
河合委員長	・本補助金は日常的な会の運営のための補助金ではなく、事業を育てていくための補助金であることに留意いただきたい。 →市の広報でスタッフを募集しても来ない。大盤も更新したい。よりよい運営としていくために補助金を使いたい。

	・スタッフ募集については広報誌に限らず、他の手段も検討してはどうか。 →多世代交流センター等でチラシを配っても、自分が楽しくできればよい人ばかりでなかなか教えた人が集まらない。
団体	【自由テーマ型】 アカペラ×エコ縁日～大地と水と火と空と歌 シゲイズム・ヒゲノミクス
関連課	【関連課 意見】
桜井委員	【質疑応答】 ・実施体制について、メンバー6名で大丈夫か。 →制作委員会方式、出演者として手を挙げた団体には運営にも関わってもらう。 ・バンド参加 50組となっているがそんなに見込めるのか？ →100組ほど集めることは可能。 ・補助金を活用する意義は。 →音響にお金がかかるため、その費用に充てたい。
団体	【自由テーマ型】 ふくしばみくすと ふくしばみくすと実行委員会
関連課	【関連課 意見】
桜井委員	【質疑応答】 ・手話エンターテイメント発信団とは。 →外部のセミプロ団体。
河合委員長	・今までの経験と今回のイベントの関係性は何かあるのか。 →現時点では特にない。いろいろな人とつながりたいと考えているのと、障害のある方の関わりしろを作り出したかったのが、今回イベントを企画した。 ・障害のある等に来てもらうための工夫は。 →事業所へ広報済み。障害者による装飾や出展を予定している。当日の参加はもちろん、事前のワークショップも企画している。
団体	【自由テーマ型】 シニアにやさしいスマホ・タブレット講座 NPO法人茨木シニアICTアソシエーション
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】

板倉委員	・ ICT に強い団体なのに、広報はチラシのみなのか。 →他媒体も検討したい。 ・ 高齢者が会場に行くのは大変。他のやり方は無いのか？ →検討する。
河合委員長	他に意見はないか。以上でプレゼンテーションを終了する。
事務局	事務局から連絡事項はないか。
	次回は、4月16日、午後2時から、市役所南館8階で開催予定。
河合委員長	以上で、第2回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。